

# 総務社会

広域化に伴い、一般廃棄物処理計画の定め方や、産業廃棄物の処理費用などの改正。

**問** 8月以降、「白馬山麓清掃センター」という名称はどうなるか。

**答** 北アルプス広域連合とも協議した結果、名称はそのまま使う。

▽全員の賛成により可決。

### ●一般会計補正予算(第2号)

予算総額に1億9116万2千円を増額し、歳入歳出それぞれを62億4976万9千円とするもの。

(総務課)

議会棟のトイレ改修等、議会意見も踏まえ、庁舎全体で再検討していくこととし534万4千円を減額。

(子育て支援課)

(歳入)県元気づくり支援金の交付決定で101万9千円を増額。遠隔健康医療相談・小児科オンラインの導入経費、子育てガイドブック発行費用に充てる。

**問** ガイドブック作成は役場全体で関わり、職員がつくることで地域全体での子育てという意識づけになるのでは。

**答** 当初は目指していたができなかった。来年度以降は職員で行いたい。

(生涯学習スポーツ課)

ワールドカップ事業清算に伴い不足

分1479万6千円を増額。不足が出た要因は雪の運搬費、入場券売上げ収入不足、BS放送経費の増。準備期間不足で協賛金や助成金が間に合わなかった。

**問** 放映権料の経費交渉については。

**答** 放送会社と料金調整をしたが引き下げは難しかった。

▽全員の賛成により所管事項は可決。

### ●陳情第2号

白馬村グラウンドデザイン作成における連携強化ほかの陳情

▽多数の賛成により一部採択。

### ●陳情第4号

長野県池田工業高校への支援に関する陳情

▽多数の賛成により趣旨採択。

**陳情第5号**「白馬村景観形成重点地域指導基準」内、小規模基準見直しに関する陳情

3000㎡以下の建物の指導基準見直しなどを求めるもの。

**問** 具体的に何を見直してほしいのか。また、村の考え方は。

**答** (陳情者から)建物の形状、色彩、道路や隣地からの後退距離など。(行政から)景観法に基づく景観計画を立てる予定。その際さまさま検討したい。

▽全員の賛成により採択。

## 総務社会委員会 閉会中の活動

# あ然！老朽化した公共施設

5月30日、総務社会委員会では月例委員会を開催しました。

今回のテーマは、老朽化した村有施設の実態を視察すること。さらに、間に迫ったごみ処理広域化の準備状況を、主管課等からお聞きしました。

両小学校、教員住宅、村営住宅、神城多目的施設、子育て支援ルーム(旧中部保育園)を始め、全部で12か所を視察しました。参加した議員全員が、老朽化して使い物にはならない、しかし解体撤去されることなく付む施設に暗い気持ちになりました。また、現役の施設である南小の南校舎、北小の北校舎、中学校体育館となつて

いるB&G体育館、子育て支援ルームの古さにも、喫緊に学校整備方針を立てなければならぬことを改めて実感しました。

午後は、ごみ処理広域化前の準備状況を、役場住民課と白馬山麓事務組合に加え、ごみ収集運搬業務を請け負っている(株)カザマの柳沢専務にお越しいただき、現場から見える課題について意見交換しました。



神城診療所前の使われなくなった教員住宅を見る

行政としてどこまで準備出来たか、これから何をしなければならぬか、また、業者からは日々の収集で困っている実態や課題を伺いました。担当委員会として問題点を共有し、指摘することは指摘させていただき、どちらの課題に対しても、行政の前向きで本気の取り組みを促し、適時、監視・助言・催促させて頂くほかないと委員全員が改めて認識しました。